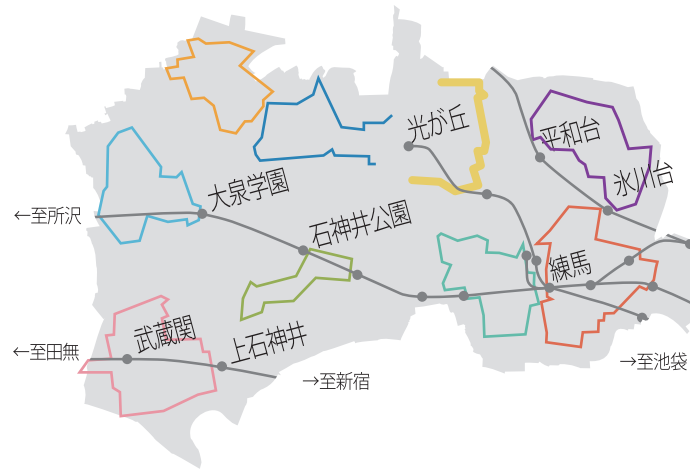


# ねりまの散歩道

「ねりまの散歩道」は、身近にある景観を楽しみながら歩く散歩道です。

まちの景観の下地となっているのは、まちの地形や歴史です。ちょっとした坂道の上下りから見えるみどり等にそのまちらしさが隠れています。「歩きたくなるまち 住みつけたくなるまちねりま」に出かけてみませんか。



ホームページでも情報を発信中!

**ねりま景観まちづくり**

まちあるきに便利な情報が満載です。

- 見どころ
- イベント情報
- マップ etc

地区名で検索すると  
周辺の景観情報が  
見られます!

【風景部門172】  
大泉学園町の由来を伝える石神と大...  
大泉学園町六丁目25番 - 26番  
[写真を見る]

【みどり部門6432】  
紅葉映える大泉学園の山景  
大泉学園町三丁目11番  
[写真を見る]

【みどり部門6431】  
おもむきゆかどの森のしだれ桜  
大泉学園町六丁目17番  
[写真を見る]

【みどり部門6424】  
みどり門扉  
大泉学園町七丁目11番  
[写真を見る]

【まちかど部門5116】  
みどりとの石のみち  
大泉学園町四丁目27番  
[写真を見る]

【まちかど部門5115】  
ひみつの抜け道 (大泉学園町)  
大泉学園町三丁目3番  
[写真を見る]

<https://nerima-keikan.jp/>

ねりま景観まちづくり

検索

- 1** 石神井公園コース
- 6** 豊玉・高稲荷公園コース
- 2** 武蔵関公園コース
- 7** 中村・向山庭園コース
- 3** 大泉井頭公園コース
- 8** 光が丘公園コース
- 4** 大泉中央公園コース
- 9** 城北中央公園コース
- 5** 清水山・稲荷山コース

発行：練馬区 都市整備部 都市計画課  
編集：(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター  
発行日：2020年4月1日

## 石神井公園コース

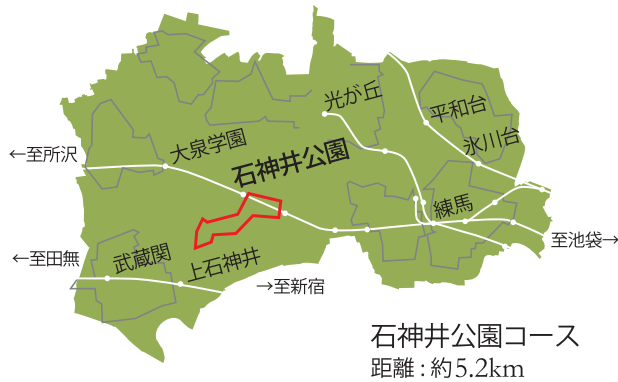
四季を通じて楽しめる歴史と自然

1

# 石神井公園 コース

四季を通じて楽しめる歴史と自然

石神井公園コースは、都立石神井公園を中心に、駅前商店街からみどり豊かな住宅地、石神井川や寺社を巡る散歩道です。石神井川がつくった地形の起伏を感じながら、武蔵野の面影が残る雑木林や水辺の自然、歴史ある寺社など、様々な景観を楽しむことができます。



石神井公園コース  
距離：約5.2km

凡例

- ねりまの散歩道コース
- 🌳 景観ポイント
- 🌿 公園・緑地 など
- 💧 池
- 🌊 川
- 📍 公共施設など
- 🎓 学校
- 🏯 神社
- 🗿 寺院
- 🚻 トイレ
- 坂道 (坂の上) ➤➤➤ (坂の下)



ポイント

## 1 古道と新道

この道は、南田中から大泉へと続いていた古くからの道でした。昔の地図でも確認できますが、その形から歴史を知ることができます。ポイントは、見通しを妨げる適度にゆらいだ形状と、この道から派生したT字路の多さです。往來のための古道からまちが開かれた様子が、道の形に表れています。



ポイント

## 4 参道を歩く

氷川神社には、石神井川に向かって下っていく、みどり溢れる石畳の境外参道があります。この参道は、境内に向かって進むとある地点から急に神社がまっすぐ目の前に現れる劇的な空間です。



ポイント

## 5 川と寺社の回遊路

所沢道とも呼ばれる旧早稲田通りは、氷川神社、三宝寺、道場寺、禅定院と数多くの寺社が集まる旧道です。石神井川が併走しているので、2つの道を行き来して寺社巡りと川辺のそぞろ歩きを楽しむことができます。

ポイント

## 2 眺望のバリエーション

石神井池の北側の一帯は、南の方角に池と公園を望む住宅地です。池を見下ろす眺めがとても素晴らしいです。沿道のみどりが坂道を下り、池の畔のみどりと繋がって、石神井公園らしさを醸し出して



います。

こうした坂道がいくつもあります。傾斜の違いによって、石神井池の眺めが少しずつ異なり、歩いてとても楽しい景観を生み出しています。



ポイント

## 3 2つの池の対比

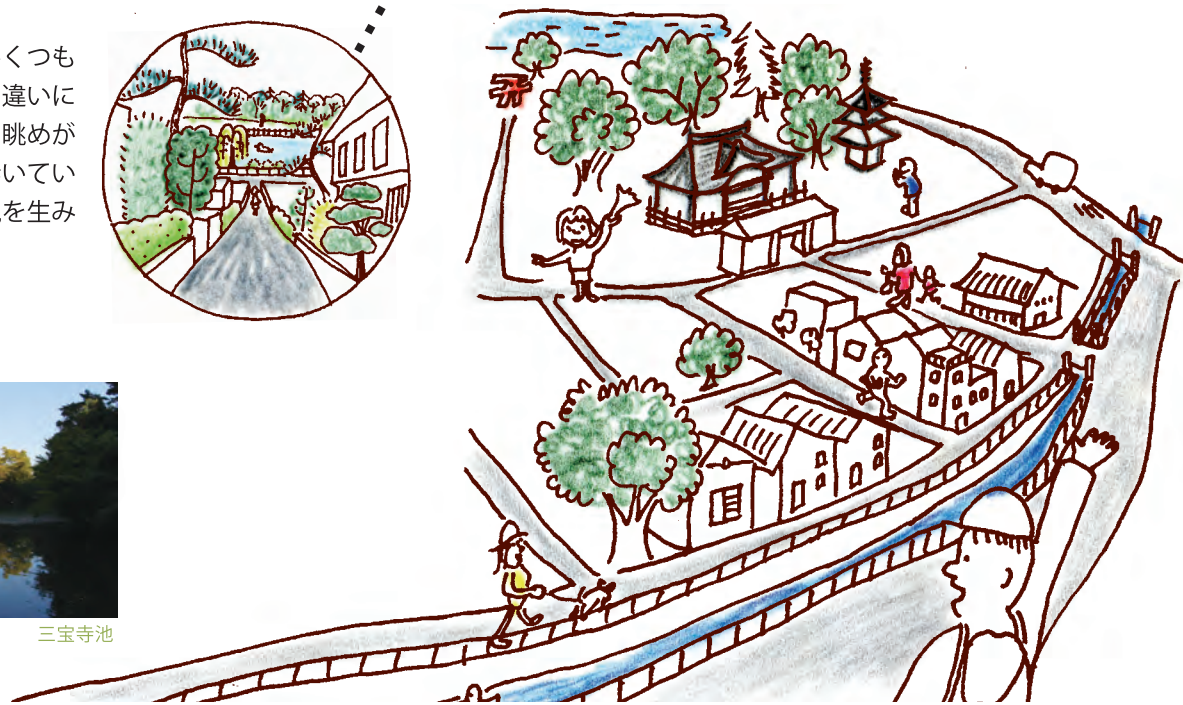
都立石神井公園は、人口池である石神井池と天然池の三宝寺池の異なる景観を兼ね備えています。



石神井池



三宝寺池



ポイント

## 6 橋詰の広がり



石神井川と井草通りの交差点にあるさくらの辻公園は、その名のとおりサクラの木が植えられ、蛸橋の橋詰にある公園です。人の視線が集まりやすい角地に広がる水とみどりの空間です。

ポイント

## 8 水路敷を辿って



旧早稲田通りから水路敷を辿ると、石神井川の開けた眺望が見えます

ポイント

## 7 塀をみる

さくらの辻公園の東側は、かつて石神井川が蛇行していた流域部のヘリにあたります。この辺りは、河川改修に伴って宅地開発された住宅地です。塀をよく見ると、様々な模様を見つけることができます。



同じ素材(大谷石)でつくられた幾何学模様の塀。何パターンあるでしょう？

ポイント

## 9 南田中のスカイライン

南田中橋に立って下流を眺めて見ると、石神井川の水面と、兩岸の南田中団地の建物とサクラの並木が一体化して、印象的な河川景観を望むことができます。サクラの木と建物の高さが調和し、視線の奥にランドマークとして平成みあい橋と給水塔があることもポイントです。



ポイント

## 10 傾斜地と松の風景

石神井川の流域跡の道から、北側の斜面を見上げると立派な松が何本も立っています。昔から松が自生していた武蔵野台地で、川の名残と松がつくる石神井の原風景を垣間見ることができます。



斜面地に立ち並ぶ立派な松は、地域の特徴を伝える景観要素です

ポイント

## 11 坂道とみどり

石神井公園駅から石神井池に向かう途中、稲荷神社の境内のみどりが坂道を下るように石神井川へと連なる印象的な道路景観が現れます。坂道だけでなく、道の曲線に沿ってもみどりが一望できるため、より一体的なみどりの街並みを感じることができます。



ポイント

## 12 商店街

石神井公園駅から商店街通りを進んでいくと、道が折れ曲がって先が見通せません。この通りの先には石神井公園。賑わいを道路空間に閉じ込め、さらにはこの先への期待を抱かせます。

